

次のとおり令和7年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- | |
|--|
| (1) 確かな学力、たくましく生きる力、豊かな心の育成 (2) 生徒一人一人を理解し、主体的に学校生活を送る態度の育成 (3) キャリア教育を充実させ、進路実現に向け主体的に取り組む態度の育成 (4) 地域の自然・文化・歴史への理解を深め、地域に貢献する力の育成 |
|--|

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

| 評価項目 | 自己評価の結果 | 学校関係者の結果 |
|-------------|--|--|
| 学習指導 | <ul style="list-style-type: none"> ・雪害などで学びの保障が必要な場合はオンライン授業にて対応することが定着した。 ・探究では、3年生の提案が形となり、2年生が京都でのPR活動を展開や1、2年合同で北大でのアントレプレナー教育など活動が広がった。また、各教科での発表の機会を設定するなど、教科横断的に生徒の活動をバックアップしている。 | <p>オンラインなどを活用した少人数ならではのきめ細かな学習指導を続けてもらいたい。</p> |
| 改善方策 | <ul style="list-style-type: none"> ・MA+CHプロジェクト最終年度ということもあり、地域に根ざし、地域振興を主眼に置いた活動を通して生徒の探究活動を推進する。 ・各単元ごとにテストを行い生徒の習熟度をきめ細かく多角的な評価する。またこの結果を受けてPDCAサイクルを回して授業改善を進める。 | |
| 生徒指導 | <ul style="list-style-type: none"> ・「ほっと」「QU検査」【生徒理解ツール】「Litalico」【特別支援校務援助ツール】により生徒を分析し研修にて、個々に対する接し方や指導についての共通理解を図った。 ・いじめについては今年度も0件を維持している。これは生徒の優しい心と教員による日々の観察と指導により安定した生活を保つことが出来ている。 | <p>課外活動など積極的に取り組まれており、今後も引き続き生徒にとって実りのある活動を続けてもらいたい。</p> |
| 改善方策 | <ul style="list-style-type: none"> ・教職員と生徒との人間的で豊かな関係の構築を通じて生徒の内面に寄り添い、生徒の社会性向上の充実を図り、いじめの無い安心・安全な学校作りを進める。 ・社会貢献やボランティア活動の意義と必要性をHRや授業を通じて生徒に周知する。 | |
| 進路指導 | <ul style="list-style-type: none"> ・1年生に3度の進路ガイダンスを実施、2年生に職業適性ツールを利用した職業診断を実施した。 ・進路希望調査に応じ、各種行事を組み立てた。 ・T-baseと連携した講習や個別指導、生徒の進路希望に応じた各種模試を実施した。 | <p>進路を意識した授業内容で、適切に進路指導されていた。</p> |
| 改善方策 | <ul style="list-style-type: none"> ・進路行事に対する探究的アプローチを取り入れ、生徒の進路実現に向けプログラムを行う。 ・資格取得や模試等の充実を図り、進路意識の高揚を図る。 ・進路希望調査や資料をデジタル化して生徒と保護者等に説明して活用を促す。 | |
| 健康安全指導 | <ul style="list-style-type: none"> ・健康安全に対する計画的な取組を実践して意識の高める指導を行った。 ・町の社会福祉協議会と協力し1日防災学校の内容を工夫して取り組んでいた。 ・登校時のバス乗車指導を実施した。 | <p>1日防災学校などの取り組みを通して、安全・安心な学校造りがされていた。</p> |
| 改善方策 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の健康増進に向けた保健室前の掲示や保健だよりを今後も積極的に実施していく。 ・担任・学年と協力して日常の生徒把握に努め、適切な対応のための研修を充実させる。 ・1日防災学校等の内容について地域住民を巻き込んだ活動を目指し、安全安心な教育環境を推進する。 | |
| 保護者地域住民との連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・月形町からの多大な人的、物的援助を頂き、効果的・積極的な取組や情報発信が行い、地域住民を巻き込んだ教育活動を推進できた。 ・北海道MA+CHプロジェクトにおける地学協働活動と連携がとれていた。 ・生徒にボランティア活動への参加をすすめているが参加する生徒が固定化している。 | <p>各種行事で保護者と連携がとれていた。今後とも保護者と連携を取ってもらいたい。</p> |
| 改善方策 | <ul style="list-style-type: none"> ・PTA活動に向けて、役員会、総会で協議を重ね新たな活動を模索する。 ・令和8年度北海道高等学校PTA連合会全道大会空知大会に向け当日の運営をスムーズに行えるよう準備を行う。 ・北海道MA+CHプロジェクト事業最終年度を迎え、この活動で得たものを継続的に維持していくため、学校運営協議会と協力して実施していく。 ・社会貢献やボランティア活動の意義と必要性をHRや授業を通じて生徒に周知する。 | |
| 公表方法 | ホームページ、学校運営協議会、PTA役員会・総会等 | |

添付資料

- (1) 令和7年度 学校評価自己評価票
- (2) 令和7年度 自己評価結果に対する学校関係者評価
- (3) 令和7年度 保護者アンケート集